

音楽アーティスト科 ダンスパフォーマーコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
講義	アイソレーションⅡ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅰ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	楽曲制作Ⅱ	68	2	2
実習	パフォーマンス実技Ⅰ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。							
到達目標							
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作権隣接権の内容について理解する ① 著作権隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 19～21回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 22～25回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 26～28回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 29～31回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 32～36回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスユニットⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修	
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	3歳からダンスを始め多くのジャンルを学び、現在も九州内外で挑戦を続けている。 ・ミュージカル赤毛のアン 2007年 2008年九州公演出演 ・DREAMS COME TRUE WONDER LAND 2015年 九州黒ドリ・DANCE@LIVE両国国技館2016 HIPHOP FINALIST ・GATSBY DANCE COMPETITION 2015 日本代表(Reckless)・JAPAN DANCE DELIGHT2017 FINALIST(Reckless) ・AK-69 武道館LIVE 2017 SCENE DANCER・NIKE×RIE HATA PROJECT 2019 DANCER・Danchella Australia 2025 solo division 優勝					
授業概要						
様々なジャンルや要素に触れながら、ダンサーのみのパフォーマンスや表現をストリートカルチャーやエンタテインメントなど幅広く習得して行く。 集団パフォーマンスやソロなど協調性から個性までの幅を養って行きます。						
到達目標						
・様々な曲やジャンル、ステップや表現を駆使し、スタイルごとやミックススタイルのパフォーマンスできるようになる。 ・2学年合同を活かし教えやサポートに触れ学びの幅を養う。協調性や個性を養い身につける。 ・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。 ・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。 ・グループとして様々な楽曲を創り上げていき、ステージ発表やLIVE WEEKパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。2年生が1年生のサポートを行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。2年生がペアで1年生のサポートを行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。グループを回ごとに分け向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:これまでの課題曲の振付、フォーメーションを揃え、一体感や自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	2年生は去年までのソロプロジェクト内容を活用し理想の構想案を発表。1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	構想案での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:これまでの課題曲の振付、フォーメーションを揃え、一体感や自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム・完成度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ソロでの個性や、ダンスグループの中での協調性や個性の出し方、ダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	パフォーマンスの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択		
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマンス						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	DA PUMPの全国ツアーに帯同し、振付・サポートダンサーとして出演。 また、テレビCM「TAX」にメイン出演。その他、福岡発のアイドルグループ「LinQ」の総合演出・振付を行うなど、多方面にて活躍中。						
授業概要							
史上に残る様々なダンスの起源、歴史的背景との関わりを知識として習得します。							
到達目標							
・古くから伝わるクラシックダンスの歴史を理解する。							
・現代のダンスの発祥の国や、理由、歴史的背景との関わりを理解する。							
・ダンスの歴史や技術の変遷を紐解くことにより、新たな発見や驚きを見出す。							
・現代から古代までに遡るダンスの歴史を学び、その起源、発祥の理由等を歴史的、社会的背景とともに知識として発表することができる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	第1章 バレエの歴史（モダンダンス、コンテンポラリーも含む）
【前期】 4～7回目	第2章 タップダンスの歴史
【前期】 8～10回目	第3章 ジャズダンスの歴史（ブロードウェイジャズ、ジャズファンクも含む）
【前期】 11～13回目	第4章 ブレイクダンスの歴史
【前期】 14～17回目	映画や動画などを用いて考察、試験、振り返り ■前期試験:筆記試験により「様々なダンスの起源や歴史的背景などの知識」の理解度を確認する。
【後期】 18～20回目	第5章 ロックダンスの歴史
【後期】 21～24回目	第6章 ポップ、ブーガルーの歴史
【後期】 25～27回目	第7章 ヒップホップの歴史（アメリカ東部、西部のヒップホップ文化等も含む）
【後期】 28～30回目	第8章 ハウスダンスの歴史
【後期】 31～34回目	映画や動画などを用いて考察、試験、振り返り ■後期試験:筆記試験により「様々なダンスの起源や歴史的背景などの知識」の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「様々なダンスの起源や歴史的背景などの知識」の理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	様々なダンスの起源や歴史的な背景による変遷を読み解き、それらを知識として習得することで新たな発見や驚きが生まれ、より自身のダンスへの興味や関心を高めることができます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスベーシック&アイソレーションⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	アイソレーションⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。					
授業概要						
ストリートダンスに必須な基礎的なムーブや技術、アイソレーションと呼ばれる体の各部位を個別に動かす方法を、ダンスミュージックに合わせてコントロールする方法を習得する。						
到達目標						
・ストリートダンスの基本であるアップとダウンに加え、様々なリズムを理解する。						
・様々なジャンルのダンスのベーシックな動きを理解する。						
・ベーシックな動きを音楽に合わせる方法を理解する。						
・楽曲に合わせて、アイソレーションや基本的な動きをコントロールすることができる。						
・様々なジャンルのベーシックな動きを使い分けることができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ロジャラビット、ハッピーフィートなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 4～7回目	ジャーク、チャールストンなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 8～10回目	パーティマシーン、スポンジボムなどのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 11～13回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【前期】 14～17回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	モネストリー、クロスステップ(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 21～24回目	ツーステップ(HOUSE)、ピーターポール(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 25～27回目	HOUSEの細かいテクニックやステップのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 28～30回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【後期】 31～34回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、後期の振り返り ■後期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感 / スキル / シルエット」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なテクニック、アイソレーションをさらに熟練させ、音楽に合わせることでより高度なダンススキルを習得することができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヒップホップⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーやMV出演など、様々な経験をする。アーティスト育成スクールの全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、ダンサーとしてだけでなく、アーティストとしてのスキル、在り方、知識等も学んでいる。現在は培ったアーティストとしての意識を、ダンサーとして表現していき、福岡を中心に様々なスクールでの講師や、メジャーシーンへ振付提供や出演等の活動をしている。					
授業概要						
HipHopの中でも様々なカテゴリーを、時系列で習得する。						
到達目標						
・あらゆるHipHop danceを理解し、振付をマスターする。 ・文化であるHipHopをダンスの分野から理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	HipHop創世記のダンス～Breaking
【前期】 4～7回目	New Jack Swing 基礎
【前期】 8～10回目	New Jack Swing 振付
【前期】 11～13回目	Old school HipHop 基礎
【前期】 14～17回目	Old school HipHop 振付 ■前期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	New school HipHop 基礎
【後期】 21～24回目	New school HipHop 振付
【後期】 25～27回目	Millennium HipHop 基礎
【後期】 28～30回目	Millennium HipHop 振付
【後期】 31～34回目	振付まとめ ■後期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/完成度/理解度」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アーティストやSNSを中心にダンスが広まっている中、今現在の流行りの動きや振付の基礎となっているジャンルの一つで、とても大切です。動きだけでなく、その歴史も一緒に学んでいきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	DA PUMPの全国ツアーに帯同し、振付・サポートダンサーとして出演。 また、テレビCM「TAX」にメイン出演。その他、福岡発のアイドルグループ「LinQ」の総合演出・振付を行うなど、多方面にて活躍中。					
授業概要						
史上に残る様々なダンスの基本的な動き、テクニックを知識として習得します。						
到達目標						
・歴史的に残るダンスを幅広く知識として習得する。						
・全てのダンスのジャンルの基礎に触れ、将来的に幅広い活動を可能にする。						
・現代から古代までに遡るダンスの歴史を学び、その基礎や概念をパフォーマンスとして発表する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	第1章 バレエ(モダンダンス、コンテンポラリーも含む)
【前期】 4～7回目	第2章 タップダンス
【前期】 8～10回目	第3章 ジャズダンス (ブロードウェイジャズ、ジャズファンクも含む)
【前期】 11～13回目	第4章 ブレイクダンス
【前期】 14～17回目	映画や動画などを用いて考察、試験、振り返り ■前期試験:ダンスの実技により「様々なダンスの基礎的な動き」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	第5章 ロックダンス
【後期】 21～24回目	第6章 ポップ、ブーガルー
【後期】 25～27回目	第7章 ヒップホップ (アメリカ東部、西部のヒップホップも含む)
【後期】 28～30回目	第8章 ハウスダンス
【後期】 31～34回目	映画や動画などを用いて考察、試験、振り返り ■後期試験:ダンスの実技により「様々なダンスの基礎的な動き」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「様々なダンスの基礎的な動き」の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	様々なダンスの起源や歴史的な背景による変遷を読み解き、それらの基礎的な動きやテクニックを習得し、幅広いダンスへの知識と技術を学ぶことができます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	コリオグラファーⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	楽曲制作Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科　ダンスパフォーマー						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■	非該当	□
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。						
授業概要							
振付の制作技術を習得します。あらゆるシーンや題目を想定し、それぞれに合った振付を考案・指導できる知識・技術を学びます。 振付を考えることはチーム活動やオーディションなど様々な場面で必要となる技術ですので実践を通して学ぶ機会も提案していきます。							
到達目標							
・振付をあらゆる角度から理解し、様々なシチュエーションに合わせた振付の制作ができるようになります。							
・音楽、環境、そして踊るダンサーにあわせて振付ができる、専門的なダンススキルを習得します。							
・ダンサーの魅力を引き出すための洞察力や感性、即興力や応用力を実践的に養います。							
・振付だけでなく、ダンス全体をトータルプロデュースし、オリジナリティあふれるダンスを生み出せる技術・知識を身に付けます。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	CMを題材にして振付する / 絵コンテに合わせて振付をする
【前期】 4～7回目	アーティスト振付① / ヴォーカリスト編 ダンスヴォーカルグループを想定して、フロントマンのヴォーカリストに適した振付の制作を学ぶ。
【前期】 8～10回目	アーティスト振付② / バックダンサー編 ダンスヴォーカルグループを想定して、バックダンサーに適した振付の制作を学ぶ。
【前期】 11～13回目	アーティスト振付①②を実際に振り付ける。 制作した振付を人(アーティスト)に振り付け、指導の方法を学ぶ。
【前期】 14～17回目	アーティスト振付③ / 様々なジャンルの曲の振付:さまざまな曲調に合った振付を学ぶ。 ■前期試験:オリジナルの振付作品の制作により「独自性/完成度」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	舞台振付① / 少人数編 少人数の舞台を想定して、様々な場面での振付制作を学ぶ。
【後期】 21～24回目	舞台振付② / 大人数の舞台 大人数の舞台を想定して、様々な場面での振付制作を学ぶ。
【後期】 25～27回目	卒業制作① オリジナルの振付作品の制作を行う。
【後期】 28～30回目	卒業制作② オリジナルの振付作品の制作を行う。(続き)
【後期】 31～34回目	卒業制作③:オリジナルの振付作品の制作を行う。(続き) ■後期試験:オリジナルの振付作品の制作により「独自性/完成度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「独自性/完成度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	振付はダンスとして裏方の仕事ですが、需要もあり、やり甲斐のあるものです。 この授業では、幅広いジャンルのダンスに精通し、高度なスキルとそれらを通じた人間の身体への深い知識を習得します。 また、洞察力やコミュニケーション力、柔軟性や臨機応変な対応力などのスキルも身につくはず。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ジャズⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	パフォーマンス実技Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマンス						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・堂本光一主演ミュージカル「Endless SHOCK」、亀梨和也主演ミュージカル「DREAM BOYS」ダンサー出演 ・東京モーターショー、プロモーションビデオ「no more」「RESCUE」ダンサー出演						
授業概要							
ジャズダンスの応用的な動きをマスターし、様々な楽曲を表現できる技術を習得します。							
到達目標							
・ジャズダンスを通して感情を表現する方法を理解する。 ・様々なジャズ、バレエのテクニックを用いて楽曲を表現することができる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ピルコット(ダブル)右を出来るように練習
【前期】 4～7回目	ピケ & シェネを用いた基本的なテクニック
【前期】 8～10回目	グランジュッテなどのジャンプの基礎的なテクニック
【前期】 11～13回目	様々なジャズ、バレエの基本的なテクニックを用いたルーティーン(振付)の練習
【前期】 14～17回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスの実技により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	シェネ、ピルエット(ダブル)などのクロスノロアテクニック
【後期】 21～24回目	ピルエット(ダブル)左を出来るように練習
【後期】 25～27回目	フロアを用いたテクニックのレクチャー
【後期】 28～30回目	様々なジャズ、バレエの基本的なテクニックを用いたルーティーン(振付)の練習
【後期】 31～34回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■後期試験:ダンスの実技により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキル / 表現力 / 柔軟性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なジャズ、バレエのテクニックに加え、さらに高度な技術を習得し、より高い表現力を身につけることができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーやMV出演など、様々な経験をする。アーティスト育成スクールの全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、ダンサーとしてだけでなく、アーティストとしてのスキル、在り方、知識等も学んでいる。現在は培ったアーティストとしての意識を、ダンサーとして表現していき、福岡を中心に様々なスクールでの講師や、メジャーシーンへ振付提供や出演等の活動をしている。				

授業概要
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グルーブフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。
到達目標
・1年時の内容から発展授業として、応用技術を習得する。 ・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。 ・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。 ・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーやMV出演など、様々な経験をする。アーティスト育成スクールの全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、ダンサーとしてだけでなく、アーティストとしてのスキル、在り方、知識等も学んでいる。現在は培ったアーティストとしての意識を、ダンサーとして表現していき、福岡を中心に様々なスクールでの講師や、メジャーシーンへ振付提供や出演等の活動をしている。					
授業概要						
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グルーブフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。						
到達目標						
・ライブスタイル実習で習得した内容から、更にパフォーマンスに焦点を当て発展させる。						
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。						
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。						
・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	3歳からダンスを始め多くのジャンルを学び、現在も九州内外で挑戦を続けている。 ・ミュージカル赤毛のアン 2007年 2008年九州公演出演 ・DREAMS COME TRUE WONDER LAND 2015年 九州黒ドリ ・DANCE@LIVE両国国技館2016 HIPHOP FINALIST ・GATSBY DANCE COMPETITION 2015 日本代表(Reckless)・JAPAN DANCE DELIGHT2017 FINALIST(Reckless) ・AK-69 武道館LIVE 2017 SCENE DANCER・NIKE×RIE HATA PROJECT 2019 DANCER・Danchella Australia 2025 solo division 優勝					
授業概要						
楽曲毎による振付、構成を覚えリズムやニュアンス雰囲気等、幅広い振付ジャンルや魅せ方の習得。楽曲のイントロ、間奏などを活かしソロダンスやユニゾンで魅せるパフォーマンス、ステージングを習得。各シーンにあった意識、ダンス、パフォーマンスを課題により習得。						
到達目標						
・楽曲な考察、雰囲気、ニュアンスを早く理解する。 ・振付を早く理解する。 ・フォーメーション構成を早く理解する。 ・楽曲により雰囲気やニュアンスを変えて表現する事ができる。 ・アーティストダンサーを意識したステージングができる。 ・アーティストバックアップを意識したパフォーマンスができる。 ・オーディエンスを意識したパフォーマンスができる。 ・短い期間でテーマ、振付、構成を覚えられる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲1】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲2】楽曲の考察とリズムの把握。
【前期】 4～7回目	【課題曲2】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲3】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲3】フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【前期】 11～13回目	◇課題曲1、課題曲2、課題曲3 のニュアンス、振付構成のクオリティ向上と修正、アドバイス。テストレビュー。
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】実技テストで披露した課題曲1.2.3の成果を踏まえてフィードバックとアドバイス。前期まとめと後期に向けての個々の修正ポイントや技術アドバイス。 ■前期試験:ダンスの実技により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲4】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。 【課題曲5】楽曲の考察とリズムの把握。
【後期】 21～24回目	【課題曲5】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 25～27回目	【課題曲6】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 28～30回目	後期テストレビューと最後の成果発表に向けての練習。◇後期テスト ポイントや課題の成果を発表。ポイントや課題、実技テストに対してのフィードバックとアドバイス。課題曲4.5.6の最後の成果発表に向けて練習、復習、披露。フィードバックとアドバイス。
【後期】 31～34回目	【年間まとめ】これまでの内容と成果、個々の成長を含めまとめと、フィードバック、アドバイス。テストレビュー。 ■後期試験:ダンスの実技により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付/ステージング/リズム/質感/表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バックダンサーやダンスヴォーカルグループとしてのステージングをより学び、2年次はより早い時間で振付、構成を理解して沢山表現しましょう。楽曲とテーマにより幅広い魅せ方と振付になるので少しでも吸収して色々なシーンで活かせるように落とし込んで欲しいです。人に魅せるステージングを意識して自分の夢の為に楽しむ事を忘れず精一杯頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスヴォーカルパフォーマー/ダンスパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・EXILE、TRF等のメジャーアーティストのツアーバックアップダンサーをこなし、自身でもダンサーとして振り付け等を行う。				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
・エンターティメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。					
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。					
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。					
・チームワーク、協調性を養います。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	